

いし おか し ち いき ふく し
第3期石岡市地域福祉計画

れいわ ねんど れいわ ねんど
【令和4年度から令和8年度】

ばん
こども版

たが ささ
お互いを思いやり支えあう

す つづ
ずっと住み続けたいまち いしおか



れいわ ねん がつ
令和4年3月
いし おか し
石岡市

ちいきふくし 地域福祉ってなんだろう？

ちいきふくし 地域福祉ってなに？



みなさんが自分たちの住んでいる地域で、その人らしい幸せな生活を送ることができるように、近所の人や、地域で活動している団体などが協力しあって、いろいろな問題を解決していこうという考え方のことです。

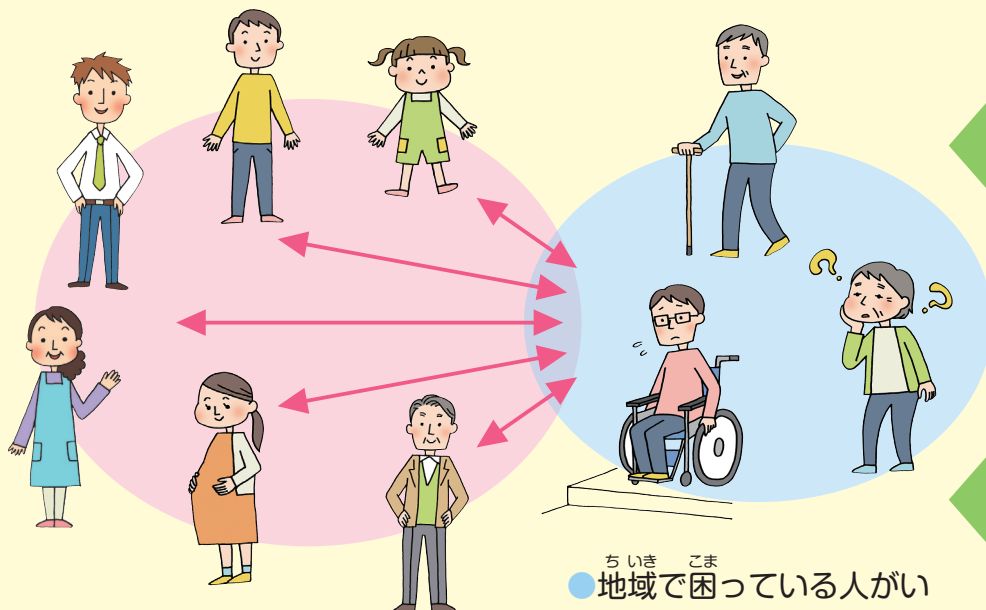
近所の人にあいさつをしたり、高齢者に手を貸したりすることも、大切な地域福祉の活動といえます。普段から近所の人と顔見知りになり、みんなで協力しあえる地域をつくっていきましょう。

特に、最近では日本全体で少子高齢化によって若い人が減り、お年寄りが増え続けているため、今後も助けを必要とする人が増えていくことが考えられます。そうしたことから、地域で「助けあい」「支えあい」の関係をつくることがより求められてきています。

● 市民や地域で活動している団体による支えあい

● 見守りやちょっとした助けが必要な人たち

● 行政や社会福祉協議会などによるサービス



● 普段からの近所の人とのあいさつや声かけ、助けあいの関係を作りましょう。

● 地域で困っている人がいたら、声をかけたり、助けたり、大人に相談したりしましょう。

● 地域で解決できないことは行政が対応します。

わたしたちはどんなことをしたらいいのかな？



まずは、自分たちができそうなことから少しずつ取り組んでみましよう。

例えば、近所の人へのあいさつやごみひろい、電車やバスなどで席をゆずることも、大切な^{ちいきふくし}地域福祉活動です。

ちいきふくし
例えば、こんなことが地域福祉活動です！



近所の人へのあいさつ



必要としている人へ席をゆずる



困っている人への手助け



ごみひろいなどのボランティア



じしん さいがいじ
地震や火事などの災害時の

助けあい

ちいきふくし 地域福祉計画ってなんだろう？



ちいきふくし
地域福祉計画ってなんですか？



ちいきふくし すいしん
地域福祉を推進するために、みんなで協力して、助けあい・^{ささ}支えあえる
社会をつくっていくためにはどうしたらよいかを^{しめ}示したものです。

石岡市では、子どもや高齢者、^{しょう}障がいのある方、^{こくせき}国籍や文化の違う方など、^{ちいき}地域で暮らす
すべての人が、^{たが}お互いを思いやり^{ささ}支えあっていくことが大切であると考えています。
^{ちいきふくし}地域福祉計画では、この思いやり、^{ささ}支えあいの気持ちを大切にしながら^{ちいきふくし}地域福祉活動を進
めていくために、^{きほんりねん}基本理念（^{ちいきふくし}地域福祉計画全体の目標）を「^{たが}お互いを思いやり^{ささ}支えあう ^す
^すっと住み続けたいまち ^{いしおか}いしおか」としました。

◆SDGsってなんだろう？

「SDGs」とは「Sustainable Development Goals（^{かのう}持続可能な^{りやく}開発目標）」の略です。

これは、地球に住んでいるすべての人が、安心して暮らし続けることができる社会をめざして、
2015年に国連で決められた目標のことです。世界中の国や^{ちいき}地域の人々が^{いっ}一致^{だんけつ}団結して、2030年までに
この目標の達成をめざすこととされています。

石岡市でも、安心して暮らし続けることのできる社会をつくるため、SDGsの目標を^{ちいきふくし}地域福祉計画
の中で^{かか}掲げています。



ちいきふくし 地域福祉計画の内容

基本目標

1

ちいき しゃかいりよく 地域みんなで取り組む社会力育て

ちいき 地域や近所の人との関係の中で、こま 困っている人を助けるための支援を行い、ささ 支えあうことのできる環 境（社会）をつくりまします。

社会力とは…

- ① より良い社会をつくろうとする意欲や態度であり、
- ② より良い社会を具体的に考える力（構想力）であり、
- ③ 考えたより良い社会を実現し実行する力（実行力）のことです。

ちいきふくし 石岡市や社会福祉協議会などで取り組んでいること

- ちいきふくし 地域福祉への理解を深めるため、ちいき 小・中学校などで、ちいきふくし 地域福祉について知ってもらうための教育を行います。
- ちいきふくし 地域福祉に関わる様々な団体が幅広く活動し、ちいき 地域の様々な問題をかいつ 解決できるようにしえん 支援します。
- ちいき 地域で交流できる場づくりを進め、ちいきふくし 地域福祉活動の推進を支えん 援します。



わたしたちができること

- そうごうてき 総合的な学習の時間などで、しゃかいりよく 社会力の大切さを学びまします。
- ちいき 地域でおとな 大人と一緒にいっしょ 活動する機会をつくってみまします。
- ちいき 地域の福祉に関心を持ち、できることから活動に参加してみまします。



基本目標 2

ほうかつき 包括的※な仕組みづくり

ちいき く 地域で暮らすみなさん一人ひとりに応じた福祉サービスを行うことができるよう、必要としているサービス把握し、よりよいサービスを提供できるようにします。

また、みなさんが困ったときや、助けを必要としていそうな人がいたときに相談できるよう、行政やちいき 地域で活動している団体などが連携し、相談にのるための体制をつくります。

ほうかつき ふく
※包括的：すべてを含めていること。

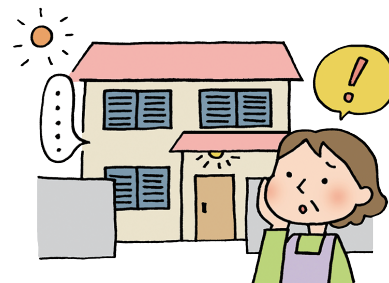
ふくし 石岡市や社会福祉協議会などで取り組んでいること

- わか 若い人がボランティアに参加しやすい環境をつくります。
- ちいき 地域でおこる様々な課題に対応できるよう、気軽に相談できる体制をつくります。
- ふくし 福祉に関する情報をわかりやすく提供します。



わたしたちができること

- 毎日、家庭内であいさつをしましょう。
- ご近所の家で郵便物が溜まっていないか気にかけてみましょう。
- ご近所で電灯がつきっぱなしになっていないか気をつけましょう。
- ボランティア活動を理解しましょう。
- ボランティア活動に積極的に参加してみましょう。
- 近所の情報を取り入れましょう。
- 困ったときに身近で相談できる人や場をつくりましょう。



地域で暮らすみなさんが、安全・安心で、自分らしい生活を送れるよう、防犯・防災対策やバリアフリーやユニバーサルデザインの推進に取り組みます。また、高齢者や障がいのある方、生活に困っている方など、助けを必要としている人にもしっかりと支援が届くようにします。

石岡市や社会福祉協議会などで取り組んでいること

- 平常時や緊急時を問わず、安全・安心に生活を送ることができる体制づくりに取り組みます。
- 安心・安全に暮らせるよう、防犯のための街灯の設置や、防犯・交通安全の情報を発信します。
- 地域で支援を必要としている人を把握することができるよう、日頃からの関係づくりができるよう支援します。
- 誰もが使いやすいよう、公共施設のバリアフリーやユニバーサルデザインを推進します。



わたしたちができること

- 地域の防犯活動や交通安全運動に参加しましょう。
- 一人ひとりの交通安全意識を高めましょう。
- 避難場所を事前に確認しましょう。
- 防災訓練に参加しましょう。
- 災害時に支援が必要な人がいたら避難を手伝いましょう。



